

外国籍の人の人権問題（桃票）

問 17 次のような考え方に対し、あなたはどちらの意見に賛成ですか。自分の意見に近いものどちらかに○をつけてください。

	回答者数	対総回答者数比
日本に住む外国籍の人が、その人の母国の文化や慣習を大切に生きていくことは尊重されるべきだ。	548	53.57%
日本に住む外国籍の人は、日本の文化や慣習に合わせる努力をすべきである。	375	36.66%
無効・無回答	100	9.78%

（有効回答 923 人 回収数比 90.31%）

問 18 外国籍の人を受け入れることに対して、次の(A)～(D)それぞれについてあなたはどのように思いますか。あなたの意見に最も近いものの番号1つに○をつけてください。

	そう思う	そう思わない	どちらとも言えない	無効・無回答
(A) 外国籍の人は、他の入居者に迷惑をかけることがあるかもしれないので、アパートへの入居を断ることがあってもしかたがない	85 8.31%	518 50.64%	339 33.14%	81 7.92%
(B) 外国籍の労働者は、ある程度賃金や待遇など不利な労働条件でもしかたがないと思う	61 5.96%	655 64.03%	230 22.48%	77 7.53%
(C) 外国籍の人が増えると治安や風紀が悪くなる	167 16.32%	334 32.65%	442 43.21%	80 7.82%
(D) 外国籍の人をじろじろ見たり、もの珍しげに見てしまうことは、仕方がない	133 13.00%	544 53.18%	265 25.90%	81 7.92%

有効回答：回収数比 (A)942人：92.17% (B)946人：92.56% (C)943人：92.27% (D)942人：92.17%

問 19 あなたは、ここ2～3年の間に「在日韓国・朝鮮人」に対する差別的な発言や言動を日ごろの暮らしの中で直接見たり聞いたりされたことがありますか。どちらかに○をつけてください。

	回答者数	対総回答者数比
ある	100	9.78%
ない	863	84.36%
無効・無回答	60	5.87%

（有効回答 963 人 回収数比 94.23%）

問 20 在日韓国・朝鮮人に対する差別的な発言や言動を見たとき、あなたはどうされましたか。次のうちから、あなたがとった行動に近いものの番号すべてに○をつけてください。(問 11 で「ない」と答えられた人も、見たり聞いたりしたときに自分がとると思う行動について、お答えください。)

	回 答 者 数	対総回答者数比
差別と気付いたが、何もできなかった	405	47.93%
そのときは差別と気付かずに、見過ごした	313	37.04%
誤りを指摘し、話し合った	145	17.16%

(総回答者数 845 人 回収数比 82.68%)

問 21 あなたは、現在、在日韓国・朝鮮人に対する差別や人権侵害があると思いますか。次の(A)～(G)それぞれについて、あなたの意見に最も近いものの番号1つに○をつけてください。

	よくある	たまにある	な い	わからない	無効・無回答
(A) 結婚や交際	128 12.51%	343 33.53%	114 11.14%	366 35.78%	72 7.04%
(B) 就職のときや職場	84 8.21%	270 26.39%	198 19.35%	388 37.93%	83 8.11%
(C) 地域・近所づきあいや、 住まいの問題	59 5.77%	238 23.26%	295 28.84%	359 35.09%	72 7.04%
(D) 学校等	37 3.62%	163 15.93%	341 33.33%	399 39.00%	83 8.11%
(E) 日常の会話	46 4.50%	188 18.38%	385 37.63%	325 31.77%	79 7.72%
(F) インターネット上の誹謗・ 中傷するような書き込み	63 6.16%	142 13.88%	189 18.48%	537 52.49%	92 8.99%
(G) 誹謗・中傷するような落 書き	32 3.13%	136 13.29%	251 24.54%	515 50.34%	89 8.70%

有効回答：回収数比 (A)951人：93.05% (B)940人：91.98% (C)951人：93.05% (D)940人：91.98%
(E)944人：92.37% (F)931人：91.10% (G)934人：91.39%

問 22 問 21 の(A)～(G)それぞれについて、あなたは、近い将来、それらの在日韓国・朝鮮人に対する差別や人権侵害はなくすことが出来ると思いますか。あなたの意見に最も近いものの番号1つに○をつけてください。

	完全になくす ことができる	かなりなくす ことができる	なくすことは 難しい	差別はな い	無効・ 無回答
(A) 結婚や交際	62 6.06%	480 46.92%	308 30.11%	83 8.11%	90 8.80%
(B) 就職のときや職場	91 8.90%	487 47.61%	211 20.63%	131 12.81%	103 10.07%

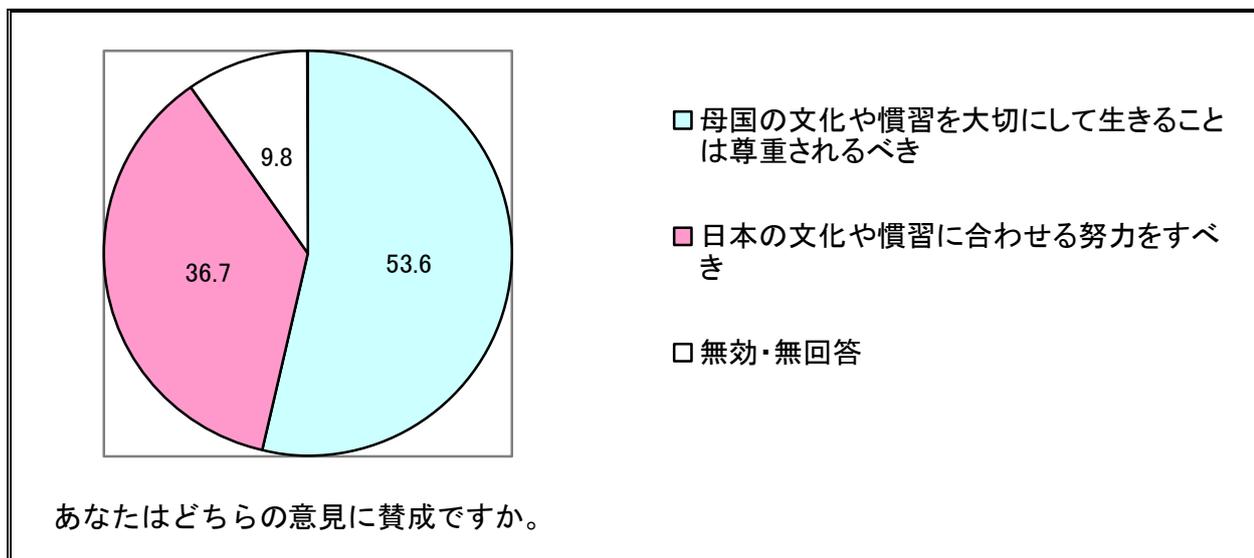
	完全になくす ことができる	かなりなくす ことができる	なくすことは 難しい	差別はな い	無効・ 無回答
(C) 地域・近所づきあいや、 住まいの問題	105 10.26%	476 46.53%	189 18.48%	154 15.05%	99 9.68%
(D) 学校等	136 13.29%	434 42.42%	151 14.76%	195 19.06%	107 10.46%
(E) 日常の会話	113 11.05%	447 43.70%	160 15.64%	199 19.45%	104 10.17%
(F) インターネット上の誹謗・ 中傷するような書き込み	64 6.26%	326 31.87%	336 32.84%	162 15.84%	135 13.20%
(G) 誹謗・中傷するような落 書き	81 7.92%	356 34.80%	281 27.47%	174 17.01%	131 12.81%

有効回答：回収数比 (A)933人：91.29% (B)920人：90.02% (C)924人：90.41% (D)916人：89.63%
(E)919人：89.92% (F)888人：86.89% (G)892人：87.28%

桃票の問17から問22までは、外国籍の人の人権問題について質問した。

■ 共生に関する価値観

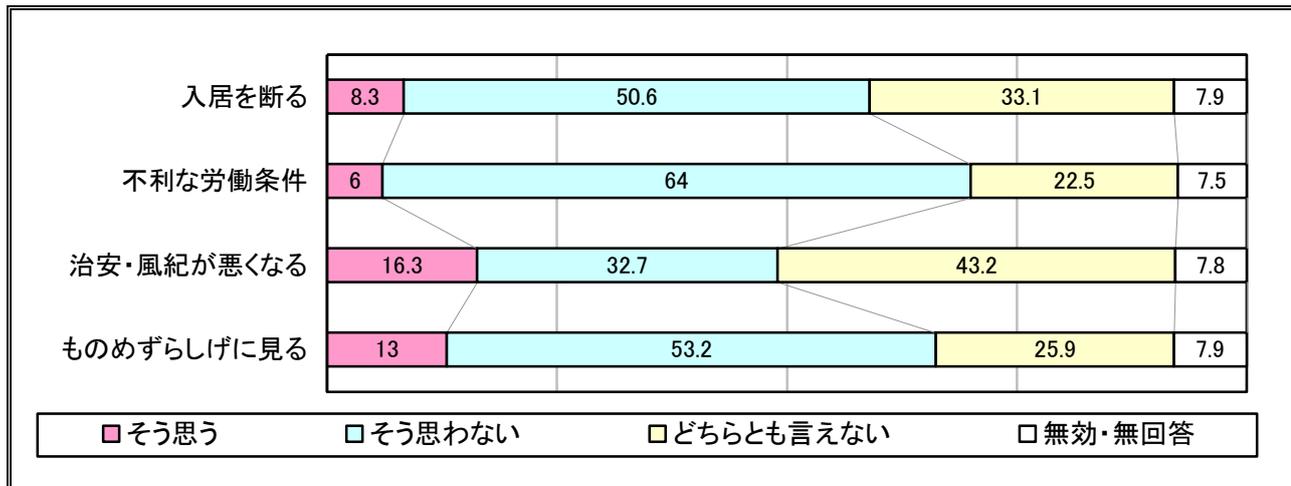
問17では、日本において、外国籍の人が居住するにあたり、外国の文化を受け入れることを尊重するか、日本の文化の枠組みを尊重するかの意見を質問した。



「日本に住む外国籍の人が、その人の母国の文化や慣習を大切にして生きることは尊重されるべきだ」という回答をした人は53.57%で、「日本の文化や慣習に合わせる努力をすべきである」という回答をした人は36.66%の結果となった。

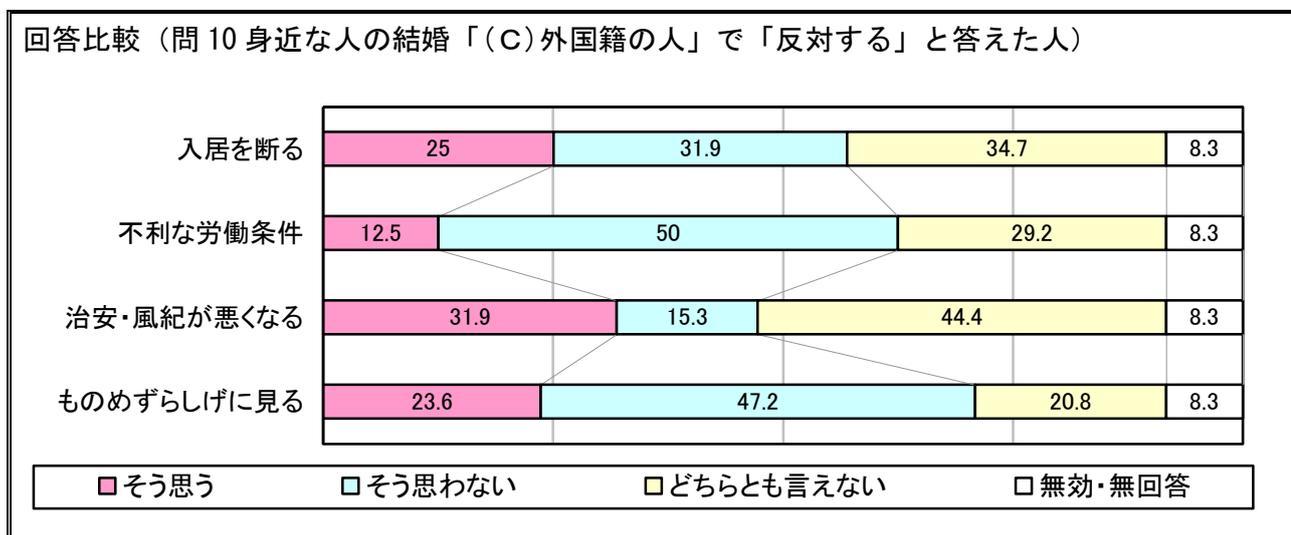
■ 日常生活における外国籍の人の受容

問 18 では、日常生活のさまざまな場面において、外国籍の人を受け入れる態度について質問した。



回答結果では、「(C)外国籍の人が増えると、治安や風紀が悪くなる」については、「どちらとも言えない」が最も多く、「そう思わない」が「そう思う」をやや上回った。

「(A) 外国籍の人は、他の入居者に迷惑を掛けるかもしれないので、アパートへの入居を断ることがあってもしかたがない」、「(B) 外国籍の労働者は、ある程度賃金や待遇など不利な労働条件でもしかたがないと思う」、「(D) 外国籍の人をじろじろ見たり、もの珍しげに見てしまうことは、仕方がない」では、「そう思わない」が他の意見を大きく上回る結果となった。



問 10 「あなたの身近な人が次の (A) ~ (D) それぞれの人との結婚を望んでいる場合、あなたはどのような態度をとられますか。」の「(C)外国籍の人」で、「反対する」と答えた人の回答割合を比較してみると、結婚以外の日常的な場面においても、受け入れにたいして否定的な意見を持っている人が多い傾向があることがわかる。

■ 在日韓国・朝鮮人に対する差別的言動の目撃体験

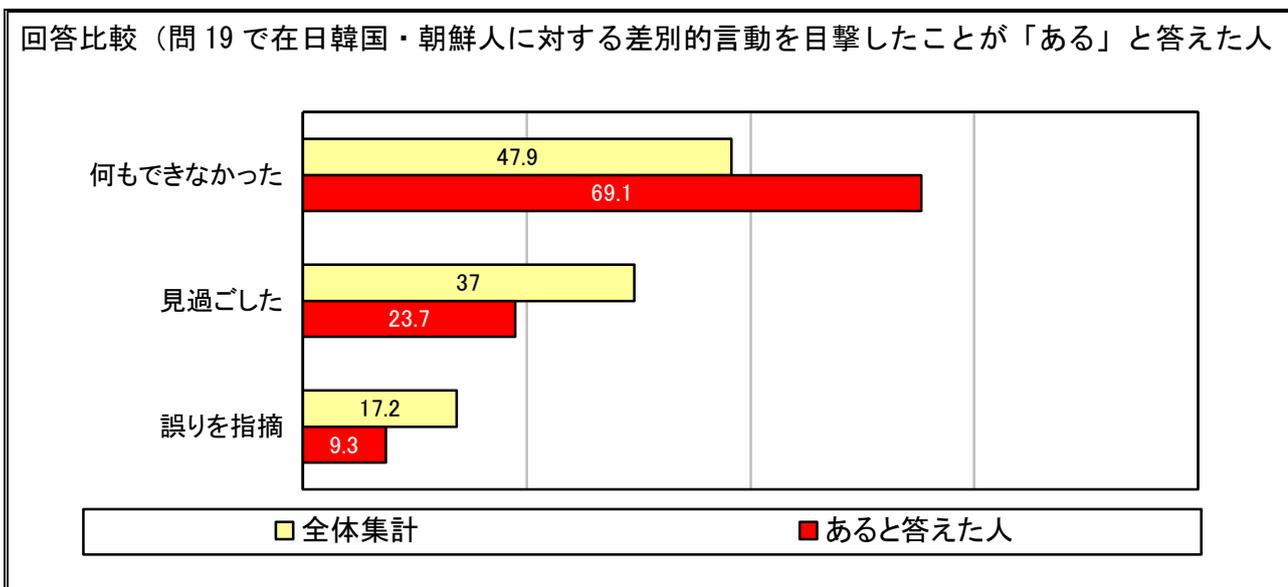
問 19 では、在日韓国・朝鮮人に対する差別的言動をここ 2～3 年の間に目撃したことがあるかどうかを質問し、実態を調査した。

差別的言動を目撃・体験したことが「ある」と答えた人は 9.78%であった。

■ 差別的言動を目撃したときの行動

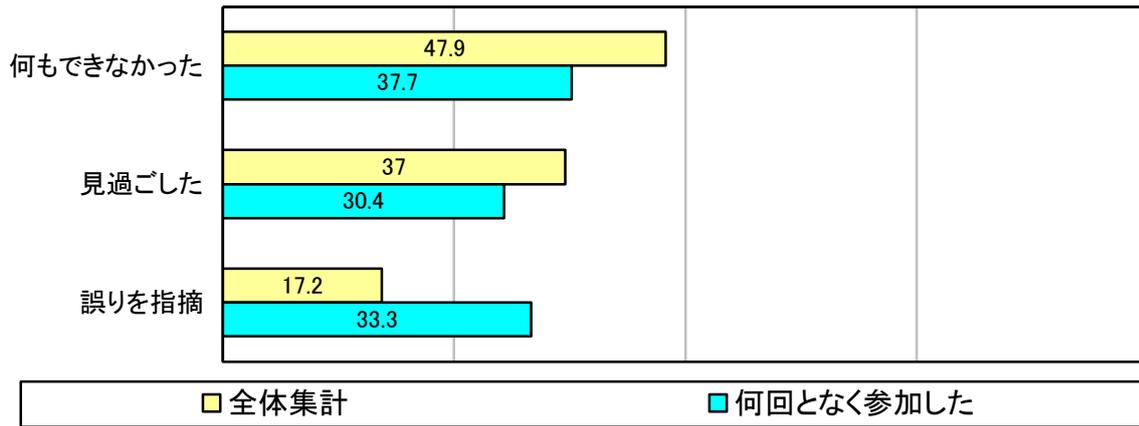
問 20 では、差別的言動を見聞きしたとき、どう行動したかを質問した。なお、問 19 で「ない」と回答した人には、もし見聞きしたとしたら、自分がどのような行動をとると思うかについて回答してもらった。

最も多かった回答は、「差別と気づいたが何もできなかった」で、回答した人のうち 47.87%の人が選択した。次に「そのときは差別と気づかずに見過ごした」で 37.00%、「誤りを指摘し、話し合った」は 17.14%となった。



問 19 で差別的言動を目撃したことが「ある」と回答した人のそのときの行動を見ると、「差別と気づいたが何もできなかった」が 69.07%、「そのときは差別と気づかずに見過ごした」が 23.71%、「誤りを指摘し、話し合った」が 9.28%で、何もできなかったという人が増加している。

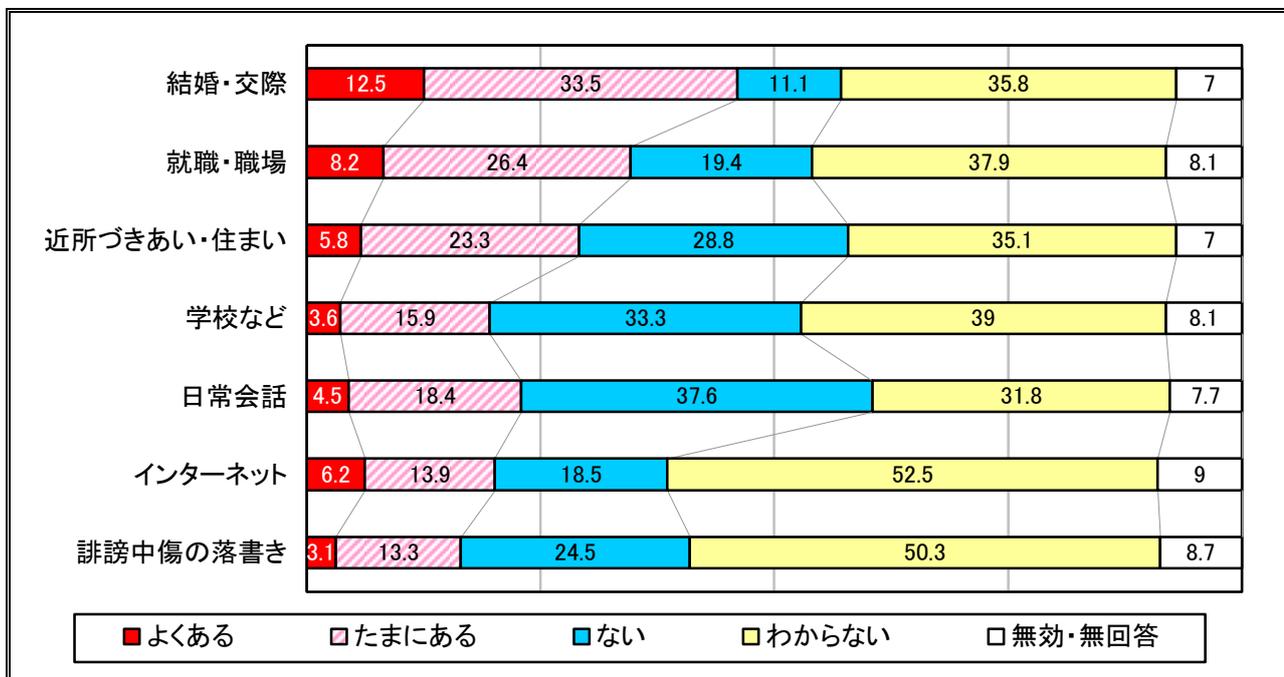
回答比較（講座・講演会の参加状況別）



問 28 の「ここ 2～3 年のうちに講演会・講座などに参加されたことがありますか」という質問で、「何回となく参加したことがある」と答えた人の回答では、「何もできなかった」人は 37.68%、「気づかず見過ごした」人が 30.43%、「誤りを指摘した」人が 33.33%と、「誤りを指摘した」という回答が増えている。

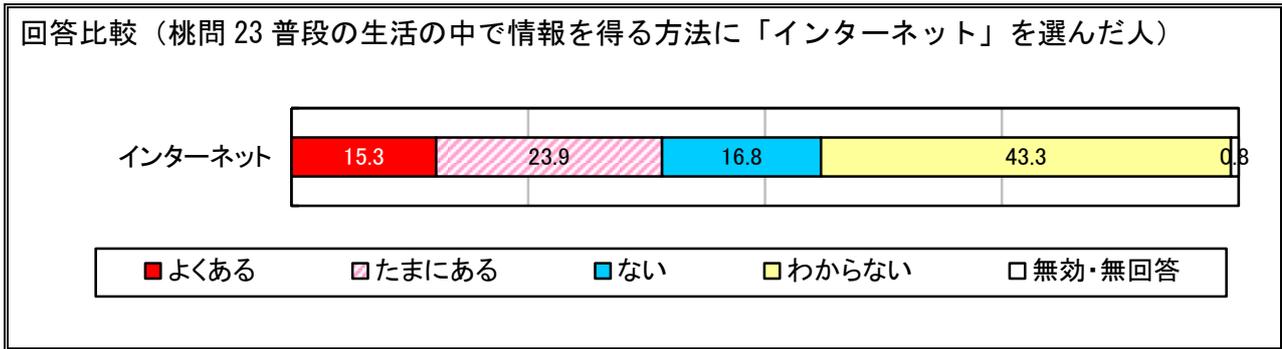
■ 差別・人権侵害の認識

問 21 では、在日韓国・朝鮮人に対する差別や人権侵害があると思うかを日常の場面ごとに分けて質問した。

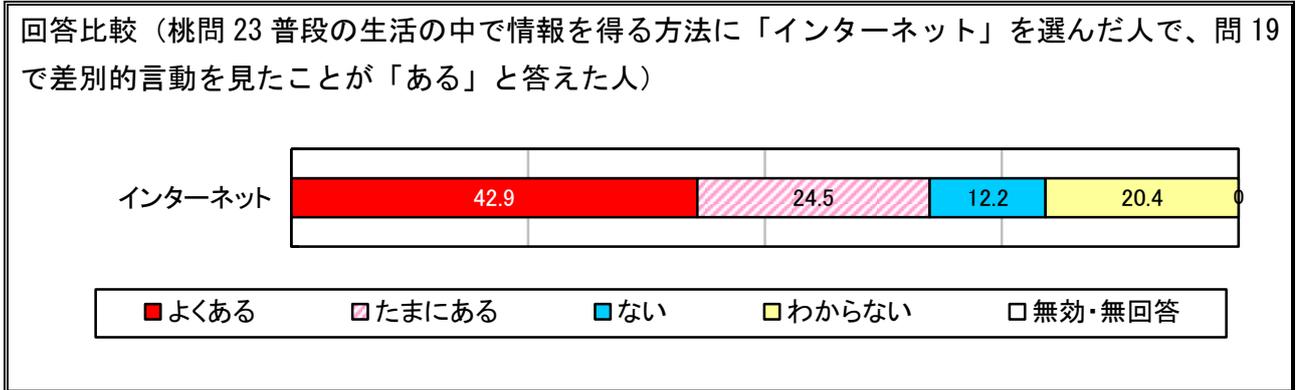
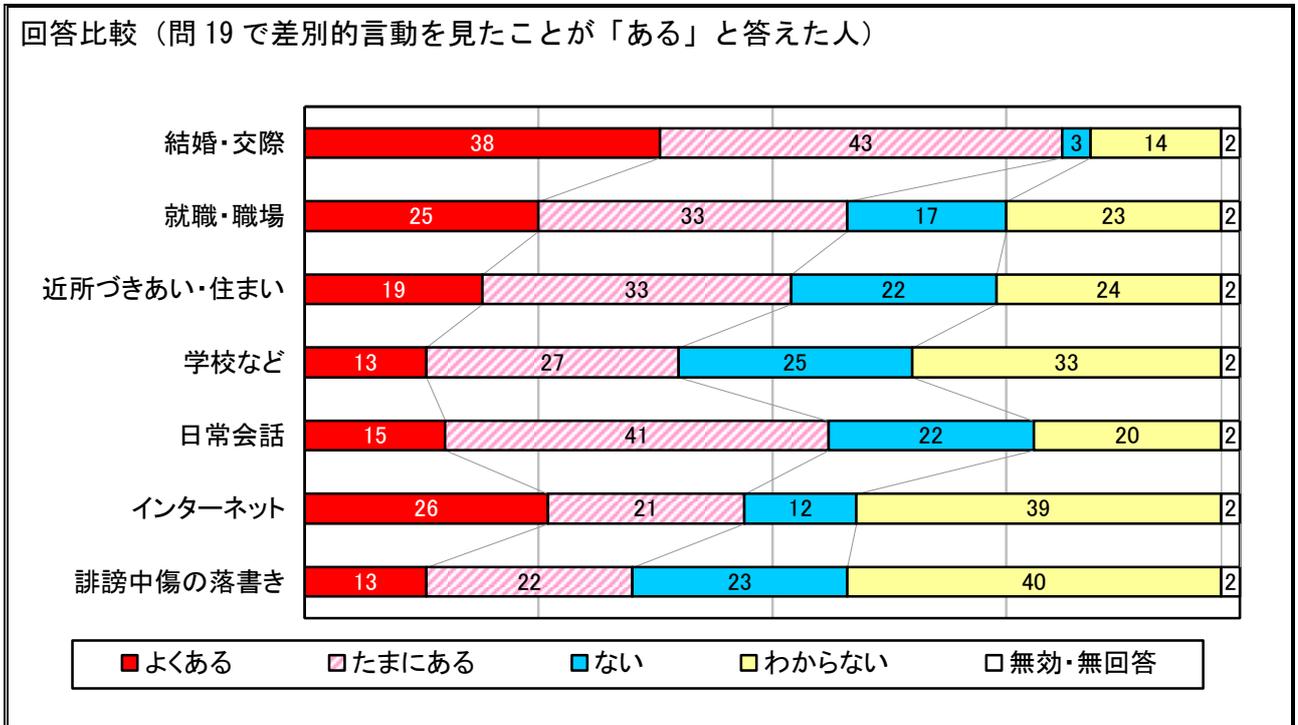


「よくある」と「たまにある」という回答を足した差別があるという認識では、「(A)結婚や交際」の場面が 46.04%で最も高かった。あるという認識が最も低かったのは、「(G)誹謗・中傷するような落書き」で 16.42%だった。

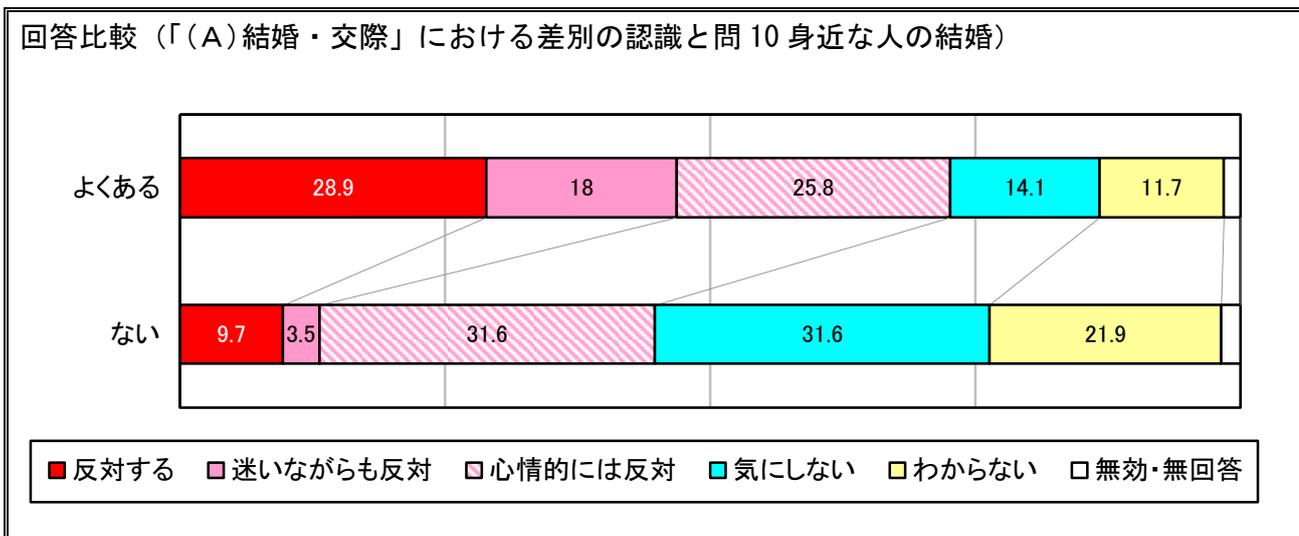
差別が「ない」という認識が最も高かったのは、「(E)日常の会話」で、37.63%、「ない」という認識が最も低かったのは、「(A)結婚や交際」の場面で、11.14%であった。



桃票問 23 の「あなたが、普段の生活の中で、情報・知識を得る方法はどのようなものですか」と言う質問で「(F)インターネット」を選んだ人の回答を見てみると、在日韓国・朝鮮人に対する差別や人権侵害を 39.18%の人が「ある」（「よくある」15.30%、「たまにある」23.88%）と認識している。



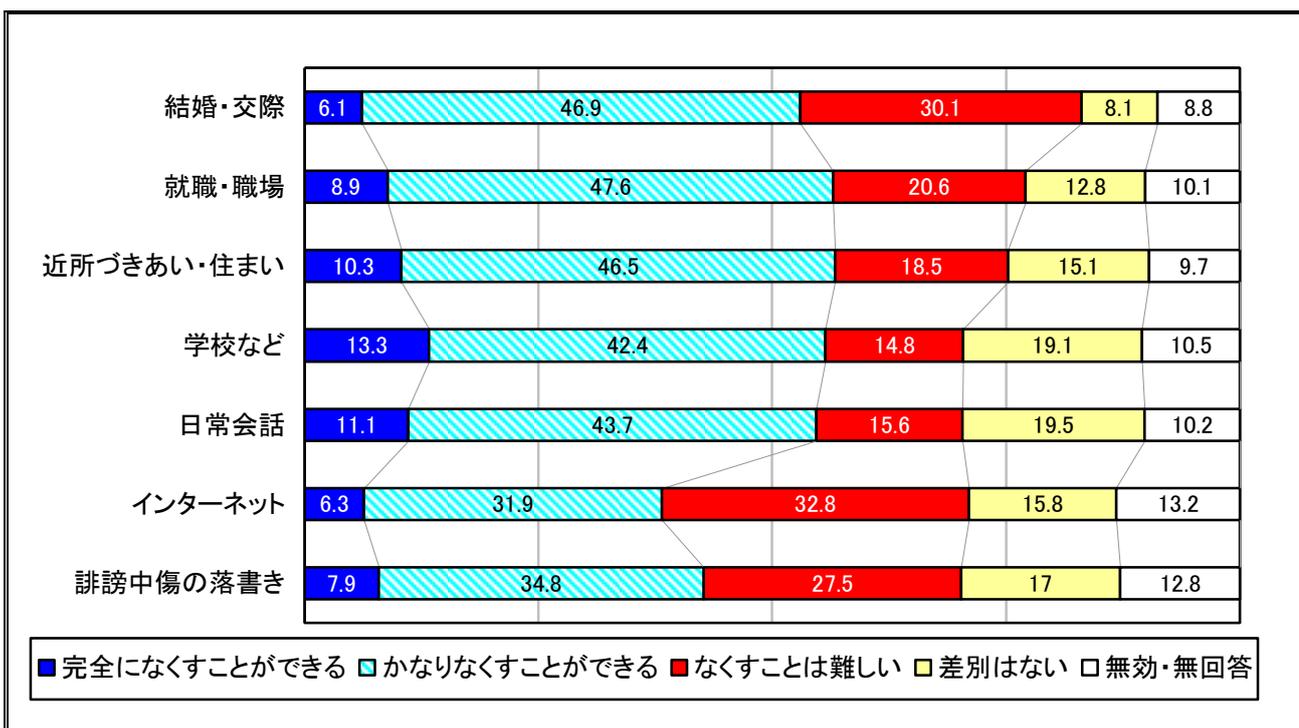
問 19 の「在日韓国・朝鮮人に対する差別的な発言や言動を日ごろの暮らしの中で直接見たり聞いたりされたことがありますか」という質問で、「ある」と答えた人の回答では、いずれの場面でも、差別はあるという認識が大幅に増加している。



「(A)結婚や交際」の場面における在日韓国・朝鮮人への差別や人権侵害の認識と、問 10 の「お子さんなど、あなたの身近な人が次のそれぞれの人との結婚を望んでいる場合、あなたはどのような態度をとられますか」での「(B)在日韓国・朝鮮人」の場合の回答の相関関係を見てみると、差別があると感じる場合、結婚に反対するという意見を持つ人が多くなる傾向にあることがわかる。

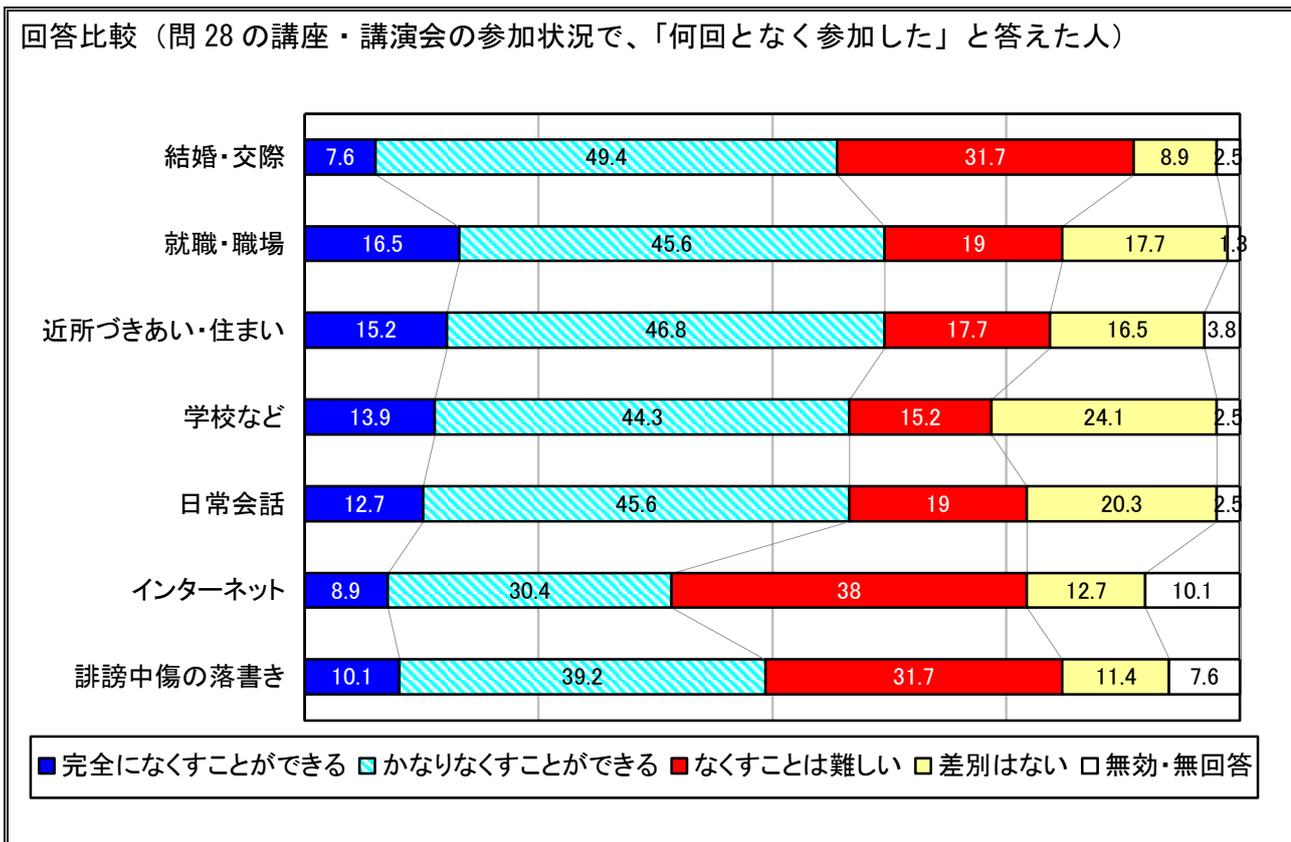
■ 問題解決への展望

問 22 では、在日韓国・朝鮮人に対する差別や人権侵害を将来なくすことができるかという展望について、問 21 の日常の場面ごとに質問をした。



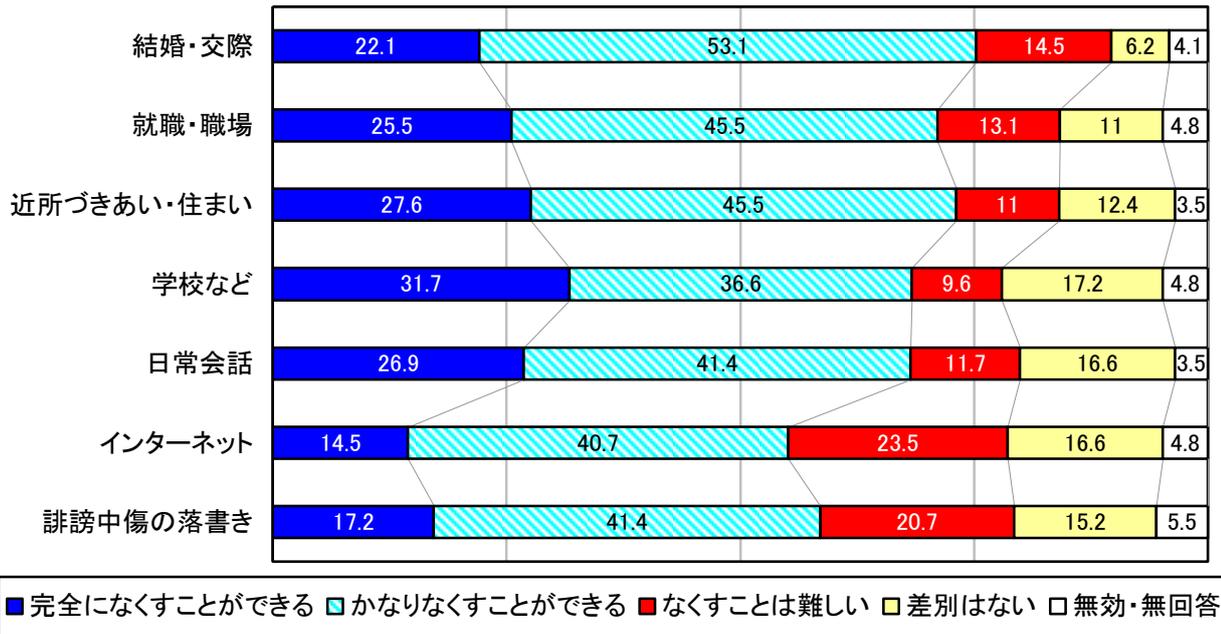
在日韓国・朝鮮人に対する差別や人権侵害については、なくすことができる（「完全になくすことができる」、「かなりなくすことができる」という意見が、全ての場面においてなくすことは難しいという意見を上回る結果となったが、「(F)インターネット上の誹謗・中傷するような書き込み」の38.13%、「(G)誹謗・中傷するような落書き」の42.72%のように、匿名性の高い場面においては、なくすことができるという意見が過半数に満たなかった。

また、「完全になくすことができる」という意見と、「なくすことは難しい」という意見の比較では、「なくすことは難しい」がいずれの場面でも上回る結果となった。



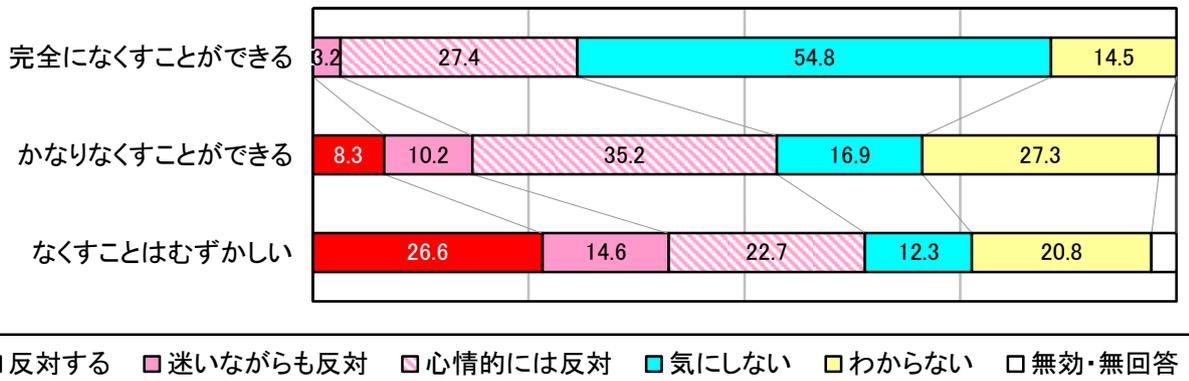
問28の「講演会・講座などにここ2～3年のうちに参加されたことはありますか」という質問で、「何回となく参加した」と答えた人の回答で比較してみると、やや「なくすことができる」という意見が増える傾向にあるが、ほとんど変わりのない結果となった。

回答比較（問20で「誤りを指摘し、話し合った」と回答した人



問 20 で、在日韓国・朝鮮人に対する差別的な発言や言動を見たとき、「誤りを指摘し、話し合った」と答えた人の回答を比較してみると、全ての場面において、過半数以上の人々が解決できるという展望を抱いていることがわかる。

回答比較（「(A)結婚・交際」の解決の展望と問10身近な人の結婚）



「(A)結婚や交際」の回答別に、問10の「お子さんなど、あなたの身近な人が次のそれぞれの人との結婚を望んでいる場合、あなたはどのような態度をとられますか」での「(B)在日韓国・朝鮮人」の場合の回答割合を見てみると、問22の「(A)結婚や交際」の場面で、在日韓国・朝鮮人に対する差別や人権侵害をなくすことができるという展望をもつ人ほど、結婚の場合において、反対をしないという意見を持つ傾向にあることがわかる。